情報公開は、行政改革の第一歩！

それって
意味あるの？

私たちは別に
困らないでしょ？

■ 平成２６年度「秋のレビュー」の一例 ■

・国土交通省所管「まち再生基金」・・・都市再生推進のため、民間事業者へ出資等の支援を実施。

			23年度	24年度	25年度	26年度見込み
収入・事業費等（単位：百万円）	収入	国費（補助金等）	–	11,000	–	–
		出資等	–	–	–	–
		運用収入（うち国費見合額）	95	110	117	548
		回収金収入	25	102	2,523	2,528
		その他	–	–	–	–
		前年度末 基金残高	10,929	7,704	17,272	18,801
		（マイナス）返納額	–	–	–	–
		合計（a）	11,050	18,917	19,912	21,876
	事業費等	出資額	3,250	1,535	900	18,893
		管理費	95	110	211	423
		合計（b）	3,345	1,645	1,111	19,316
	基金残高（a-b）		7,704	17,272	18,801	2,560
	（うち国費相当額）		7,704	17,272	18,801	2,560

国土交通省 平成２６年基金シート（番号 26-009）より抜粋。
下線と○印は、西崎によるもの。

これは、私が蓮舫事務所に在籍していた当時の業務に深く関わるテーマです。

民主党政権で話題となった事業仕分けですが、仕組みそのものは現在でも引き継がれています。それが「秋のレビュー」です。役所の事業の中身やお金の流れをシートに書き起こし（→情報公開）、その一部は公開プロセスという形で、役人と有識者での検証・議論が行われています。

上の表は、国交省の基金事業についてのシートです。抜粋ですので、少々わかりづらいのですが、25 年度までの 3 年間の事業費が 33 億、16 億、11 億円という推移であるにも関わらず、26 年度当初の残高が約 188 億円も残っており、この年だけの事業費で、約 189 億円を使うという見込みを出してきたのです。役人も、さすがに無理があると分かって書類を作成しているはずです。

つまり、役所にとって不都合な情報だろうと、それを公開する仕組みを整えておくことで、無駄なお金の流れが明らかになるのです。結局、この基金からは約 136 億円が国に返納されることになりました。シートの全容はインターネットで（www.mlit.go.jp/common/001056301.xlsx）ご覧頂けます。他にもツッコミ所が満載ですので、いちど目を通されると面白いかも知れません。

さて、やはり目黒区にも、このような徹底した情報公開の姿勢が必要ではないでしょうか。また、少し違う切り口ですが、先日の私のブログで、目黒区の認可保育園に関する情報公開の不足が一因となって、親御さんが大変な苦労をする状況を指摘させて頂きました。

行政は税金で運営されているのですから、その概要を可能な限りオープンにすることで、議員は言うまでもなく、区民も目を光らせやすい環境を目指し、提言を続けていきたいと思います。

The Democratic Party of Japan
民主 PRESS MINSHU
2015年3月1日
目黒区版
号外
民主党プレス民主編集部
〒100-0014 千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988（代表）
press@dpj.or.jp　http://www.dpj.or.jp

●お問合せ・ご意見などは
民主党東京第５区総支部
〒153-0051　目黒区上目黒 1-17-6-202
TEL: 03-3792-3440　FAX: 03-3792-5440
Email: nishizaki@t440.com

平成9年4月25日　第3種郵便物認可